

平成29年度事業報告

自 平成29年4月1日

至 平成30年3月31日

[総括]

- # 平成29年度収支決算の結果は、収入262,623,435円に対し、支出は260,271,836円で2,351,599円の黒字を計上しました。その結果、正味財産の期末残高は48,446,084円となりました。

- # 事業内容を展望すると、自治体が保有する消防自動車、救急車、塵芥収集車などを整備し直して開発途上国に贈与する、いわゆるリサイクル援助事業が順調に推移しており、29年度は34件25カ国に104台を寄贈することができました。事業規模は213,608,980円に上ります。

また在外公館施設の保守管理事業については、29年度分入札のうち5案件を受注した結果、継続案件を含め、17公館に技術者を派遣しました。事業規模は24,370,209円でした。

- # 前28年度は思いもかけない円高による為替差損などにより大きく赤字を出しましたが、29年度は円安基調で推移したこともあって、少額ながら黒字を出せました。

- # 事業の幅を広げるために、翻訳などについて様々な政府機関・地方公共団体などの入札に参加しておりますが、まだ試行錯誤の段階です。いずれ少数言語の翻訳など、特徴を出しながら強みを生かした事業に発展させるつもりです。また講師派遣事業は細々とではありますが始めております。法人の会費収入が管理費のわずか10%未満という現状を改善すること。②途上国へのリサイクル援助事業の更なる拡大発展を図ること。③公益事業を行う法人として相応しい新規事業の起業につとめること。そのために民間有志からスポンサーを募って資金調達をはかること——が喫緊の課題であります。

[公益目的事業／継続事業]

1. 国際知識に関する普及及び調査研究事業

月例講演会の開催 — 国際情勢の研究と外交政策の広報

原則として毎月1回、日本記者クラブにおいて国際問題講演会を開催している。講師は主として外務省の幹部を招いて実施しており、外交政策の普及に努めている。29年度の開催実績は下記の通り。

〔平成29年度〕				
日付	例会名	講師 役職	講師氏名	演 題
4/28	4月例会	外務省 アジア大洋州 局長	金杉 憲治 氏	米中首脳会談と日中関係
5/19	5月例会	外務省 欧州局長	正木 靖 氏	今後の欧州情勢について
6/19	6月例会	外務省 アジア大洋州局 北東アジア課長	金井 正彰 氏	文在寅大統領の韓国と日韓関係、南北関係
7/12	7月例会	外務省 中南米局 局長	高瀬 寧 氏	中南米情勢について
9/8	9月例会	外務省 南部アジア部長	滝崎 成樹 氏	中国とASEAN諸国について
10/30	10月例会	外務省 アジア大洋州局 審議官	石川 浩司 氏	2期目の習近平体制について
11/20	11月例会	外務省 欧州局 中央アジア・コーカサス室長	田口 精一郎 氏	中央アジアを巡る国際情勢と日本外交
12/20	12月例会	外務省 欧州局長	正木 靖 氏	激動の欧州の一年の回顧 (ブレクシットと英仏独情勢)
1/22	新年例会	外務省 顧問	杉山 晋輔 氏	変貌する国際情勢と日本の外交
2/19	2月例会	内閣官房 TPP政府対策本部 政府代表 首席交渉官	梅本 和義 氏	TPP交渉の全貌と今後の展望
3/14	3月例会	外務省 中東アフリカ局 局長	岡 浩 氏	最近の中東情勢

2. 在外公館支援に関する事業

外務省の入札案件であるが、当協会の恒例事業となっている。

在外公館施設におけるエンジニア派遣業務 3件を受注

自家発発電装置保守点検専門技術者派遣業務 2件を受注

29年度は、計31名のエンジニアを17カ国（17公館）に派遣している。

派遣実績・国名及び公館名：

【欧州】（3公館）ロシア：ロシア総、マケドニア：マケドニア大、キルギス：キルギス大

【アジア】（1公館）インドネシア：インドネシア大

【大洋州】（1公館）パラオ：パラオ大

【アフリカ】（12公館）ルワンダ：ルワンダ大、タンザニア：タンザニア大、マラウイ：マラウイ大、ザンビア：ザンビア大、モザンビーク：モザンビーク大、マダガスカル：マダガスカル大、ケニア：ケニア大、スーダン：スーダン大、ナイジェリア：ナイジェリア大、エチオピア：エチオピア大、コンゴ（民）：コンゴ（民）大、モリタニア：モリタニア大、

3. 海外援助に関する事業

リサイクル援助

日本国内で役割を終えた消防自動車や救急車、塵芥収集車などを自治体から譲り受け、整備し直して開発途上国に寄贈している。

29年度は別表のとおり、25カ国に34件、104台の車両を寄贈した（内訳：消防車41台、はしご車1台、救助工作車5台、高所放水車1台、救急車40台、献血車1台、図書館車3台、塵芥収集車8台、ダンプ車1台、バキューム車1台、マイクロバス2台）。このうち6案件については機材到着時に技術者を派遣して、現地の人材育成を目的とした短期研修を行う。

（表内、*印は短期研修を実施）

国名	契約時期	要請団体	提供機材
スリランカ	H30年3月	スリランカ投資庁	*消防車8台
フィリピン	H30年3月	フィリピン消防局	救急車14台、消防車6台、救助工作車2台
パキスタン	H30年3月	パキスタン赤新月社	*救急車4台
パキスタン	H30年3月	NGO AMTF	献血車1台
ベトナム	H29年10月	公安省消防救難局	*はしご車1台、消防車3台
クック諸島国	H30年2月	ティムリモティア消防署	水槽車1台、消防車2台
サモア	H30年3月	サモア消防緊急対策局	消防車4台、救助工作車1台
トンガ	H29年7月	廃棄物公社	塵芥収集車3台、ダンプ車1台、バキューム車1台
パプアニューギニア	H30年2月	パプアニューギニア消防局	消防車6台
ミクロネシア	H30年3月	セントセシリア校	マイクロバス1台
アゼルバイジャン	H30年3月	NGO CDセンター	救急車2台
ジョージア	H30年3月	ジョージア危機管理庁	*高所放水車1台
ウガンダ	H30年1月	NGO Matovu 財団	救急車1台
ウガンダ	H30年2月	ントウンガモ町	救急車1台
ウガンダ	H30年2月	キソロ地区病院	救急車1台
ジンバブウェ	H29年10月	NGO セント・ジョン・アンビュランス	救急車1台
ブルキナファソ	H30年3月	ワガドゥグ市	消防車1台
ベナン	H30年3月	ベナン国家消防隊	救急車7台
マラウイ	H29年4月	キリスト教保健協会	救急車2台
南アフリカ共和国	H29年11月	南アフリカ初等教育支援の会	移動図書館車2台
南アフリカ共和国	H29年11月	南アフリカ初等教育支援の会	移動図書館車1台
レソト王国	H30年3月	キリスト教保健協会	*救急車2台
アルゼンチン	H30年3月	ホセ・セ・パス市義勇消防団	消防車1台
アルゼンチン	H29年12月	バランケラス市消防隊	消防車1台

ウルグアイ	H30年3月	ラバジェハ県	マイクロバス1台
ウルグアイ	H30年3月	ウルグアイ消防庁(1)	消防車3台
ウルグアイ	H30年3月	ウルグアイ消防庁(2)	消防車3台
エルサルバドル	H30年3月	サンタ・アナ老人ホーム	救急車1台
エルサルバドル	H29年12月	保健省	救急車4台
コロンビア	H30年3月	カンデラリア市消防団	消防車1台
チリ	H30年2月	パイネ消防団	*救助工作車1台
ドミニカ共和国	H29年11月	コンスタンサ市	塵芥収集車3台
ドミニカ共和国	H30年2月	ハラバコア市	塵芥収集車2台
ホンジュラス	H30年3月	ホンジュラス消防団	消防車2台

国際コンサルタント業務に関する懇談会

外務省国際協力局の幹部と国際開発コンサルタント業界との意見交換会を年数回の割合で実施している。ODAを効率的かつ効果的に実施するため、途上国のニーズに関する情報交換や援助の進め方について議論を交わしている。

翻訳事業

平成29年度も地方自治体、公益団体、企業、個人などから翻訳業務を受託した。受注言語としては英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語があり、受注内容としては広報資料、ウェブ翻訳、技術マニュアル、公文書(レターなど)があった。

[その他の事業]

機関誌「日本外交協会報」の発行

日本外交協会の会報は、例会の行われた月に講師の講演内容を中心に編集して発行している。外交は国民の支援と協力があってはじめて成果をあげることができるという観点から、可能な限り外務省の政策広報に力を入れている。配布先は外務省、在外公館、自治体、関連団体など。

講師派遣

学生、社会人を対象に昨今の世界情勢などについて正確な情報を提供するため、大使OBや外務省の現役幹部などを派遣している。

学生会議、シンポジウムなどへの後援、協力

日ロ学生会議、日韓学生会議など二国間の学生が一同に会して議論し、友好を高める活動を設立以来、支援しているほか、国際交流団体などが実施するイベントを支援している。

以上